

令和6年度版『せいかつ上 みんな なかよし』年間指導計画・評価計画(案)

■教科書活用例 ★学習したことを、家庭や地域へつなげる活動 ●発展的な学習内容

【発】発言分析 【行】行動観察 【作】作品分析

入学当初の活動 (学習指導要領との関連)			目標		観点別評価規準		
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
はじめの いっぼ (主たる内容1 内容8) 指導時期：4月 指導時数：4時間 教科書：上巻p.表紙裏～9			入学前に好きだったことや、やったことなどを思い出したり伝え合ったりする活動を通して、小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりすることができ、すでに知っていることや自分でできていることに気づき、期待と安心をもって学校生活を過ごすことができるようにする。		入学前から、すでに知っていることや自分でできていることに気付いている。	入学前の経験と比べて、小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりしている。	期待と安心をもって、学校生活を過ごすことができるようにする。
合科的・関連的な指導や弾力的な時間設定	表紙裏～5	きょうから1ねんせい	入学前と小学校生活とを比べ、違いや同じところに気づき、幼児期の経験を生かして、適切な生活技能を身につけ、友達と一緒に楽しく遊んだりできるようにする。	○教科書の絵を見て、気付いたことを自由に話す。 ○絵から想像したことを話し合う。 ○先生や友達と自己紹介をしたり、一緒になかよく遊んだりする。 ○教室にあるものを見たり、靴箱や洗面所などの施設の使い方を知り実際に使ってみる。 ○これから一緒にやってみたいことを考えたり話したりする。 ○学校生活と入学前の経験を比べたり、気付いたことを話したりする。	・入学前の生活との相違に気付いている。 ・生活において、挨拶、片づけ、手洗いなどをしている。 【発】【行】	入学前の生活と比べたりこれまでの経験を生かしたりしながら、遊んでいる。 【行】	友達に挨拶をしたり、一緒に遊んだりして、学校生活を楽しくしようとしている。 【発】【行】
	6～7	がくしゅうのはじまり	入学前にしていたことを生かして活動を楽しんだり、いろいろな学習の時間があることに気づき、幼児期の経験を生かして、学習活動ができるようにする。	○幼児期の経験を生かして、みんなで絵本や歌や制作活動を楽しむ。 ○幼児期に培った学びを生かして、自己紹介や友達づくりの活動を楽しむ。	ささまざまな学習の時間があることに気付いている。 【発】【行】	入学前にしていたことを生かして、活動を楽しんでいる。 【発】【行】	これまでの経験を生かして、学習活動に取り組もうとしている。 【発】【行】
	8～9	がっこうのせいかつ	入学前の経験を生かして、身のまわりのことを自分ですることに気づき、生活のリズムをもって、楽しく学校生活を送ることができるようにする。	○生活の流れを意識した学校生活を送る中で、朝や帰りの準備、給食当番や掃除などを行う。 ○思い描いていた学校生活についてや、幼児期の生活との相違について考えたり話したりする。 ○これからの学習に使う学習者用端末や電子機器などに触れる。	身のまわりのことにおいて、自分で整理整頓などを行っている。 【行】	これまでの経験を生かしながら、学習活動をしている。 【発】【行】	生活のリズムをもって、楽しく学校生活を送ろうとしている。 【発】【行】

単元 (学習指導要領との関連)			目標		観点別評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
わくわく ときどき しょうがっこう (主たる内容1) 指導時期：4～5月 指導時数：16時間 教科書：上巻p.10～23			学校や通学路を探検する活動を通して、学校の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々がいることに気付き、学校生活はさまざまな人や施設と関わっていること、きまりやマナーを守ると気持ちよく過ごせることがわかり、楽しく安心して学校生活を送ったり、安全な登下校をしたりできるようにする。		学校生活はさまざまな人や施設と関わっていること、一緒に生活する楽しさ、学校生活でのきまりやマナーを守ると気持ちよく過ごせることがわかっている。	学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々を意識して、関わっている。	学校の施設の様子、学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々に関心を持ち、楽しく学校生活を送ったり、安全な登下校をしたりしようとしている。
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
1	10～11	(単元の導入)	入学してからを思い起こして、学校にはさまざまな人がいることに気付き、学校のことをもっと知りたいという意欲をもつことができるようにする。	■入学してからどんなことがあったか、どんな人と会ったかななどを思い出し、これからの学習の見通しを持つ(わくわくすいっち/わくわくしいと)。 ○学校のことがわかる方法を考えたり話し合ったりする。	学校にはさまざまな人がいることに気付いている。 【発】 【行】	入学してからを思い起こして、学校が、もっとよくわかる方法を伝え合っている。 【発】 【行】	学校について、もっと知ろうとしている。 【発】 【行】
2	12～13	がっこうをたんけんしよう	校庭や校内をみんなで歩き、学校にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付き、意欲的にそれらに関わることができるようにする。	○休み時間に、校庭で遊んだことを思い出し、楽しそうなところを発表する。 ■校庭を探検し、自分のお気に入りの場所を探す(こうていたんけん)。 ○お気に入りの場所を友達に伝える。 ○みんなで学校探検をして、学校にはさまざまな人がいてさまざまな場所があること、学校内にはきまりやマナーがあることに気付き、適切に関わることができるようにする。	・学校にはさまざまな施設や場所があることに気付いている。 ・校庭や校舎内のきまりやマナーを守っている。 【発】 【行】	校庭や校舎内の施設や場所、生きものや支える人を見つけながら探検している。 【発】 【行】	校庭や校舎内の施設、生きものや人などに関心をもって、関わったり探そうとしたりしている。 【発】 【行】
1	14～15	なにをかんじたかな	学校探検した中で、学校の施設の位置や特徴がわかり、気付いたこと、もっと知りたいこと、やってみたいことを伝え合い、学校への興味や関心を高めることができるようにする。	○気付いたこと、もっと知りたいこと、やってみたいことを伝え合う。 ○まだ見ていないところや、もう一度行ってみたいところがあることを話し合い、もう一度行く計画を立てる。 ○グループを作り、探検の約束について話し合う。 ■学校探検をしたときに感じた疑問や考えを話し合ったり整理したりして、これからの学習の見通しを持つ(なにを みつけたかな/かんがえまとめいる)。	学校にはさまざまな人々がいて、さまざまな施設があることに気付いている。 【発】 【行】	学校の施設の位置や特徴を意識して、行ってみたい場所ややってみたいことを選んでいく。 【発】 【行】	学校のことを、もっと知りたいという意欲をもって、確かめに行こうとしている。 【発】 【行】

4	16~17	じぶんたちで あいこ	グループで学校を探検し、利用の仕方やマナーについて考えることができ、いろいろな部屋や人の存在や役割に気づき、出会った人たちとの交流を楽しむことができるようにする。	○グループで、校内の施設や設備を、諸感覚を使いながら探検する。 ○探検をして気付いたことや見つけたものを絵や言葉で表現したり、実物を見せ合ったりする。 ○探検をして、気になることやもっと知りたいことを話し合う。	学校には、みんなで使う部屋や設備、入ってはいけない場所があることに気付いている。 【発】【行】	利用の仕方や、マナーについて考えながら、学校の施設や人々関わっている。 【行】【作】	出会った人たちとの交流を楽しみ、もっと知りたいという思いをもって関わろうとしている。 【発】【行】
4	18~19	もっと たんけんしてみよう	グループで、もっと知りたいことなど目的をもって探検したり利用したりして、学校の施設やそこにいる人々の役割や働き、自分との関わりに気付くことができるようにする。	○気になることやもっと知りたいことをどのようにしたらわかるかについて話し合い、再度、グループで探検する計画を立て、人に聞くときの約束について話し合う。 ○グループで、自分たちの知りたいことについて調べに行く。 ○探検してわかったことを伝え合う。	学校探検において、適切な言葉遣いで話し、きまりやマナーを守って探検している。 【発】【行】	学校の施設の利用の仕方やマナーについて考えたことを意識しながら、探検したり利用したりしている。 【行】【作】	繰り返し探検し、学校の施設の利用やマナーに応じて、楽しく遊んだり生活しようとしている。 【発】【行】
2	20~21	なにを かんじたかな	探検活動を振り返って、考えたり伝えたりして、学校の施設の位置や特徴、役割、学校を支えている人々の存在や働きなどがわかり、楽しく安心して学校生活ができるようにする。	○これまでかいた絵やカードを見ながら、学習を振り返る。 ○みんなにわかるような伝え方を考えたり、絵をかいたりして発表の準備をする。 ○かいた絵などをもとに、仲よくなった人やお気に入りの場所について発表する。 ■学習を振り返って、自己評価をする（がっこうをたんけんしてみつけたこと/ぐんぐんはしご）。 ★家の人に、学校の様子を伝える。	学校の施設の位置や特徴、役割、学校を支えている人々の存在や働きなどがわかっていく。 【発】【作】	学校にいる人々や施設などについて振り返って、自分の学校生活を楽しく安心して過ごす方法について伝え合っている。 【発】【行】【作】	友達やさまざまな人々と関わることを楽しみにし、楽しく安心して生活をしようとしている。 【発】【行】【作】
2	22~23	げんきに すごそう	学校生活や登下校において、自分たちの安全を守ってくれている設備や人々と適切に関わることができる、それらに感謝の気持ちをもって、学校生活や安全な登下校ができるようにする。	○安全を守るものやそれがあるところについて確認し、どのような役割をするのか、また、安全な行動について話し合う。 ○登下校の際に、通学路の危険な箇所について振り返り、安全を守る設備や安全を守る人、安全な行動について話し合う。 ○毎日を健康に過ごすためには、どんなことが必要か話し合う。 ■正しい手のあらいかたを練習する（てのあらいかた）。	・学校生活や登下校において、自分たちの安全を守る設備、人々に気づき、登下校において、安全を意識して通学路を歩いている。 【発】【行】	毎日の登下校において、自分たちの安全を守ってくれる人々を思い起こして、挨拶をして感謝の気持ちを表している。 【発】【行】	・学校や登下校の安全を守っている人々の存在を感じながら、安全な登下校をしようとしている。 ・健康に過ごすための行動をすすんで行おうとしている。 【発】【行】

単元 (学習指導要領との関連)			目標	観点別評価規準			
きれいに さいてね わたしの はな (主たる内容 7) 指導時期：5～3月 指導時数：10時間 教科書：上巻p.24～39			アサガオなどの植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみを持ち、大切にできるようにする。	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				アサガオなどを育てる活動を通して、植物に合った世話の仕方や、植物が同じように生命をもっていることや成長していることに気付いている。	アサガオなどを育てる活動を通して、植物が育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけている。	アサガオなどを育てる活動を通して、植物に親しみを持ち、大切にしようとしている。	
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	24～25	(単元の導入)	これまで育てたことがある植物を振り返って、自分たちで育てることができることに気づき、栽培への意欲を高めることができるようにする。	■身のまわりに育てている植物や、植物を育てた経験を思い出し、これからの学習のイメージを持つ(わくわくすいっち/わくわくしいと)。 ○育てたい花について話し合う。	アサガオなどを、自分たちで育てることができることに気付いている。 【発】【行】	これまで育てたことがある植物を振り返って、考えている。 【発】【行】	アサガオなどをイメージし、自分たちで育てようとしている。 【発】【行】
1	26～27	たねを まこう	開花への願いをもって種を観察し、種の特徴に気づき、自分で栽培準備や種まきができるようにする。	○諸感覚を使って育てる種を観察し、気付いたことを発表し合う。 ○種の様子を、絵や文などで表現する。 ○種まきのやり方を知り、用意した容器や花壇に種をまく。 ○種まきをした気持ちを発表し、これからの世話の仕方について考える。	種の大きさや形、色などの特徴がわかり、種まきに必要な道具に気づき、準備している。 【発】【行】【作】	開花の様子を思い描きながら、育てたい植物を選んでいる。 【発】【行】【作】	発芽を楽しみにし、種まきや水やりをしようとしている。 【発】【行】【作】
1	28～29	まいにち みよう	発芽や成長の様子に関心をもって観察し、変化に気づき、成長に合わせた世話を続けることができるようにする。	■成長の様子を伝え合い、発芽した喜びを味わう(めが できる ようす)。 ○発芽の様子や思ったことを、絵や文などで表現する。 ○間引きなど成長に合わせた世話や観察を続け、カードや学習者用端末などに記録する。	・発芽の様子に気付いている。 ・芽などの世話において、適切なあげ方や量で水やりをしている。 【発】【行】【作】	発芽の様子を、友達と植物と比べながら、観察している。 【発】【行】【作】	芽を毎日観察し、よりよく育てようとしている。 【発】【行】【作】

2	30~31	まいにち せわをしよう	成長や変化に関心をもって観察し、適切な世話の方法を決めることができ、変化に気づき、開花への期待をもって続けて世話ができるようになる。	○毎日の世話や観察を通して気付いた変化について話し合う。 ■伸びてきたつるにどんな世話をしたらいいかを考えたたり調べたりし、支柱を立てる（つるのようす）。 ○追肥などの世話や、つるの伸び具合などの観察を行う。 ○変化や成長、世話の様子がわかるように、絵や文などで表現したり、学習者用端末などに記録する。	・つるの伸び方などの変化や成長に気付いている。 ・世話において、成長に合わせて支柱立てや追肥などを行っている。 【発】【行】【作】	・植物の変化を、前日の様子や友達と比べたり、これからを予想したりして観察し、それを表現している。 ・成長に合わせた世話を考えて、世話の方法を決めている。 【発】【行】【作】	これからどんな成長をするのか楽しみにし、続けて世話をしようとしている。 【発】【行】【作】
2	32~33	せわをつづけよう	開花の喜びを伝え合ったり、花を残す方法を考えたたりすることができ、世話を続けた自分に気づき、植物への親しみをもつことができるようになる。	■つぼみや花の様子を観察する（つぼみがひらくようす）。 ○花が咲いた喜びを絵や文で表す。 ○明日はどのつぼみが咲きそうか予想する。 ○押し花や色水作りなど、花を使った遊びを楽しむ。	・つぼみから開花への変化や成長に気付いている。 ・毎日、世話をして花を咲かせたことに気付いている。 【発】【行】【作】	次に咲く花を予想しながら、開花の喜びを表現したり、友達と伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	花を長く楽しみたいという思いや願いをもって、花を残そうとしている。 【発】【行】【作】
2	34~35	たねとりをしよう	種取りや後片づけをして、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、育て続けた自分への自信もち、それらを大切にできるようにする。	■種ができる様子を観察したり、種取りをしたたりする（たねのようす）。 ○これまでの記録や観察を経て、気が付いたことを絵や文で表す。 ○枯れてしまった草花を抜き、植木鉢や花壇を整える。	・植物にも自分と同じように生命があり、成長していることに気付いている。 ・種取り後において、鉢や土の後片づけに気づき、片づけている。 【発】【行】【作】	アサガオと自分の成長を関連付けながら、種取りをしている。 【発】【行】【作】	植物に心を寄せ、大切に育て続けた自分に自信をもち、それらを大切にしようとしている。 【発】【行】【作】
1	36~37	なにを かんじたかな	植物の成長や、自分の世話について振り返り、上手に世話ができるようになった自分の成長に気づき、これからも植物に親しみをもって大切にできるようにする。	○アサガオが育ってきた様子を振り返り、観察カードをまとめたり、動作化したり、がんばったことを伝え合ったりする。 ■学習を振り返って、自己評価をする（わたしのはなの おもいで/ぐんぐんはしご）。 ★家の人に育てた種を見せながら、どんなふうに育てたか伝える。	アサガオなどへの親しみが増し、成長に合わせて、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 【発】【行】【作】	アサガオなどを育てたことを振り返って、育て続けた自分への思いを表現し、友達と伝え合っている。 【発】【行】【作】	育て続けた自分への自信をもち、これからも植物を大切にしようとしている。 【発】【行】【作】
資料	38	もっと そだてたいね	春に花を咲かせる植物について参考にする。				
資料	39	もしも なかがみえる むしめがねが あったら。	■栽培の経験をもとに、生命の不思議さを感じながら種の中を想像する（いぐらどりの）。				

単元 (学習指導要領との関連)			目標	観点別評価規準			
きせつと なかよし はる なつ (主たる内容 5、6 内容 4) 指導時期：5～7月 指導時数：12時間 教科書：上巻p.40～53			春や夏の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の特徴や違いを見つけ、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、野原や公園のきまりを守ることに気付き、季節の遊びや生活を楽しく作り出すことができるようにする。	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。	春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の違いや特徴を見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。	春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。	
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	40～41	(単元の導入)	野原や公園で遊んだ経験を思い出し、自然の中で遊ぶ楽しさに気付き、春や夏の季節の特徴を生かした楽しい遊びに関心をもつことができるようにする。	■これまでしてきた春から夏の遊びの経験を思い出し、これからの学習のイメージを持つ(わくわくすいっち/わくわくしいと)。 ○野原や公園の様子を思い出して、どのように変わったか予想し、生活の中で変化したことなどを考える。 ○みんなでしてみたい季節の特徴を生かした遊びを話し合い、活動への見通しを立てる。	自然の中で遊ぶことの楽しさに気付いている。 【発】	これまでの生活や遊びを振り返って、遊びを考えている。 【発】	季節の特徴を生かして楽しく遊びたいという願いをもって、出かけようとしている。 【発】
2	42～43	はるを みつけに いこう	野原や公園の自然に、諸感覚を使って関わったり、自然物で遊んだりして、季節の特徴に気付き、それらと適切に関わって遊ぶことができるようにする。	○野原や公園までの安全な行き方や、きまりについて話し合う。 ■春の公園のイメージをふくらませる(はるみつけ)。 ○友達と一緒に生きものや樹木、草花などとふれ合って遊んだり、出会った人たちと関わったりしながら楽しく遊ぶ。 ○諸感覚を使って自然物にはたらきかけながら春を感じたり、自然の様子に気付いたりする。 ○見つけたことや楽しかったことを友達に伝える。 ○管理事務所や避難場所、防火水槽など人々を災害などから守る施設もあることに気付く。	・春や夏の自然の特徴に気付いている。 ・遊ぶ際、野原や公園での約束やルールを守って遊んでいる。 【発】【行】	・諸感覚を生かして、身近な自然と関わっている。 ・四季の変化や季節の特徴を確かめながら、身近な自然を楽しんでいる。 【発】【行】	身近な自然の様子や季節の特徴に応じながら、それらと適切に関わって遊ぶようとしている。 【発】【行】

2	44~45	いきものの わくわくくいず	野原や公園に出かけ、多様な方法で草花や生きものに関わり、自然と触れ合う楽しさを感じる。	○野原や公園で、草花遊びや生きもの探しをする。 ○見つけたことや楽しかった遊び、驚いたことや不思議に思ったことなどを絵や文などにして表現したり、友達と伝え合ったりする。 ■見つけた生きものや花の名前を調べたり、観察したりする（でじたるずかん）。 ○「だれがぬいたのかな」のクイズをしたりして、夏のイメージを広げる。	草花や生きものを探して遊ぶ楽しさや、草花で工夫して遊びを作り出す面白さに気付いている。 【発】【作】	草花での楽しい遊び方や、生きものを見つけ方を意識しながら遊んでいる。 【発】【行】【作】	草花遊びや生きもの探しを楽しみたいという思いや願いをもって、それらと触れ合っている。 【発】【行】【作】
4	46~47	なつを かんじよう	雨の日と晴れの日で校庭で生きものを探したり遊んだりして、天候の違いによる特徴を見つけ、それらを生かして遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。	○どんな遊びをしたいか、話し合い、遊びのイメージを膨らませ、必要な道具などを準備する。 ■雨の日の生きものや花の様子を観察したり、諸感覚をはたらかせながら雨の中を散歩して気付いたことを表現する（でじたるずかん）。 ○晴れた日に水遊びや砂遊びをして楽しむ。 ○遊んで楽しかったことや、発見したことなどを絵や文などで表現したり、発表したりする。	雨の日と晴れの日では、気温や湿度、過ごし方、生きものがある場所の違いに気づき、自然の中のきまり、自然事象の不思議さに気付いている。 【発】【作】	土や砂、水などを使う遊びを思い描きながら、遊びや遊びに使うものを選んでいく。 【発】【行】【作】	みんなで楽しく遊びたいという願いをもって、土や砂、水を使って粘り強く遊びを創り出そうとしている。 【発】【行】
1	48~49	なにを かんじたかな	身近な自然で繰り返し遊んだ活動を振り返って、季節によって生きものや植物などの様子が違うことや、その面白さや不思議さに気付いたり、友達と一緒に遊びを創り出す楽しさに気付くことができるようにする。	○見つけたことやわかったことを、絵や文などで表現して、友達と伝え合う。 ○友達との伝え合いを通して、季節の特徴について考えたり話し合ったりする。 ■学習を振り返って、自己評価をする（はるやなつの たのしかった あそび/ぐんぐんはしご）。 ★家の人と一緒に野原に行き、活動したことや見つけた生きものを伝える。	季節の特徴を生かした遊び方があること、自分たちの生活は季節によって様子が変わることなどに気付いている。 【発】【作】	自然物と繰り返し遊んだことを振り返って、季節を生かした遊びの楽しさや生活の変化について、表現したり伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	自分たちの遊びや生活が、身近な自然や季節の変化に関わっていることを実感し、それらを取り入れて生活を楽しくしようとしている。 【発】【行】
資料	50~51	のはらずかん	■春から夏の生きものと生息環境を調べたり、成体と幼体を比べながら、生きものの成長について興味を持つ（でじたるずかん/のはらずかんのこたえ）。				
1	52	にゅうがくしてからを ふりかえろう	入学してからの自分と今の自分を比較して、自分の生活や成長を見つめ直し、自分を支えてくれたさまざまな人々に気づき、成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。	○4月からの出来事を振り返り、楽しかったことやびっくりしたことを交流する。	自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。 【発】	入学してからの自分自身や出来事を振り返って、現在の自分と比べている。 【発】【行】【作】	これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 【発】【行】

1	53	なつやすみを げんきに すごそう	夏休みにやってみたいことや健康に過ごす計画を立て、地域には、季節にちなんだ行事があることや生活のリズムの大切さに気付き、健康に楽しく過ごすことができるようにする。	■夏休みにどんな行事や楽しみがあるか話し合いながら期待を高める（なつの ぐらし）。 ○夏休みに自分が取り組みたいことや、がんばりたいことを話し合う。 ○夏休みの生活のリズムについて考える。 ○夏休み後、自分が取り組んだことや、がんばったことを発表する。	自分たちの生活の中には、季節や地域にちなんだ行事があることに気付いている。 【発】【作】	夏休みにやってみたいこと、健康で楽しく過ごすことを思い描きながら、計画を立てている。 【発】【行】	生活のリズムや地域の行事に関心をもって、健康に楽しく過ごすとしている。 【発】【行】
単元 (学習指導要領との関連)			目標		観点別評価規準		
なかよくなるうね 小さなともだち (主たる内容7) 指導時期：9月 指導時数：10時間 教科書：上巻p.54~63			動物や虫などを育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、育てている生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付き、生きものへの親しみをもち、大切にできるようにする。		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					動物や虫などを育てる活動を通して、生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付いている。	動物や虫などを育てる活動を通して、飼育している生きものの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	動物や虫などを育てる活動を通して、生きものへの親しみをもち、大切にしようとしている。
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	54~55	(単元の導入)	学校で見つけた生きものを思い出し、身のまわりにはさまざまな生きものがいることに気付き、飼育への関心をもつことができるようにする。	■学校で見つけた生きものたちの様子や、飼ったことがある生きものについて思い出し、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○生きものに会える場所を話し合う。	身のまわりにはさまざまな生きものがいることに気付いている。 【発】	生きものに接した経験や飼育した経験を振り返りながら、話し合っている。 【発】	身のまわりの生きものに関心をもち、みんなと話し合おうとしている。 【発】
2	56~57	生きものを さがそう	学校で見つけた生きものを思い出し、身のまわりにはさまざまな生きものがいることや、生きものがどこに生息しているかということに気付き、触れ合いを通して、飼育への意欲をもつことができるようにする。	■校庭などの生きものを探す（校ていの 生きもの）。 ○生きものと遊ぶときに、気をつけることについて話し合う。 ○生きものの生命を感じ取り優しく接する。 ○学校にいた生きものについて話し、触れ合いを振り返る。	生きものが、どこに生息しているか気付いている。 【発】【行】	生きものがいる場所を予想して、見つけようとしている。 【発】【行】	生きもの探しに興味をもち、友達と教え合っ て探そうとしている。 【行】

4	58~59	もっと なかよくなりたいたね	生きものに心を寄せて世話を して、生きものが自分と同じ ように生命をもっていること や成長していることに気付 き、生きものへの親しみをも ち大切にできるようにする。	○生きものを飼育することについて話し合い自 分たちで育てる覚悟をもつ。 ○飼育している生きものすみかや餌などにつ いて調べ用意する。 ○生きものと触れ合っ て感じたことなどをさま ざまな方法で表現する。	生きものが自分と同じ ように生命をもち、成 長していることや、世 話において、すみかや 餌、定期的な掃除な ど、適切な世話の大 切さに気付いている。 【発】【行】【作】	生きものの気持ちに なって考えながら、触 れ合い方や育て方を考 えている。 【発】【行】【作】	生きものに心を寄せ、 生きものの様子に合わ せて、繰り返し関わ うとしている。 【行】
3	60~61	なにを かんじたかな	世話で工夫したことや気付い たことなどを伝え合っ て、生きものに心を寄せ、継続して 育てた自分に気付き、自信を もつことができるようにす る。	○世話を通して自分が感じてきたことを振り返 り話し合う。 ○生きものとの関わりや、生きもの の様子を自分の考えた方法で表す。 ○伝える相手や伝え方を考え、練習をする。 ○自分が感じたことを、世話を任せてくれた人 に報告をする。 ■学習を振り返って、自己評価をする（わた しの生きもの ひみつ/ぐんぐんはしご）。 ★家の人に、自分が学校で飼育した生きものを 紹介する。	生きものの気持ちを考 えて世話ができるよ うになったことに気付 いている。 【発】【行】【作】	生きものを育てたこと を振り返りながら、気 付いたこと、生きもの への思い、自分自身の 成長をさまざまな方法 で表現している。 【発】【行】【作】	がんばったことや継続 して世話を続けたこと を、友達と認め合い、 関わりを続けようと している。 【発】【行】
資料	62	生きもの そだてかた	すみかや餌などを、適宜、参考にする。				
資料	63	もしも 生きもの ことばが わかる マイクが あったら。	■飼育をした経験をもとに、生きものに心を寄せて、生きものの気持ちを想像する（いぐらドリル）。				

単元 (学習指導要領との関連)			目標		観点別評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
きせつと なかよし あき (主たる内容5、6 内容4、8) 指導時期：10～11月 指導時数：14時間 教科書：上巻p.64～81			秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見つけ、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、野原や公園のきまりを守ることなどに気づき、季節の遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。		秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。	秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。	秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
1	64～65	(単元の導入)	秋の野原や公園の変化を思い起こして、生活の変化や自然の様子に気づき、秋にできる遊びについて期待をもつことができるようにする。	■生活の中で見つけた秋の様子を話し、これからの学習のイメージを持つ(わくわくスイッチ/わくわくシート)。 ○秋の野原や公園は、夏と比べて、どのように変わったか予想をする。 ○みんなでしてみたい秋の活動を話し合い、活動への見通しを立てる。	季節の移り変わりによる生活の変化や自然の様子に気付いている。 【発】【行】	春や夏の様子を思い起こして、秋の野原や公園の様子を予想している。 【発】	秋の野原や公園を思い起こして、どんな遊びができそうか話し合おうとしている。 【発】【行】
2	66～67	あきを 見つけに いこう	野原や公園で秋の自然を観察したり、木の実や葉を集めたり、自然を利用して遊んだりして、夏との違いや秋の自然の特徴に気づき、秋の自然を楽しむことができるようにする。	○秋の野原や公園に行く計画を立てる。 ○野原や公園に出かけ、春や夏に虫を見つけた場所で虫や虫のすみかを探す。 ■秋の草花や樹木などを観察し、季節の変化に気付く(あき見つけ)。 ○気付いたことや心に残っていることを絵や文などで表現する。	風や光、動植物などが、春や夏と変化していることや、秋の特徴に気付いている。 【発】【行】	風や光、動植物などを春や夏と比較しながら、観察している。 【発】【行】	風や光、植物や生きものなどを見つけて、秋の自然を楽しもうとしている。 【発】【行】
1	68～69	生きものの わくわくクイズ	木の実や落ち葉を観察したり調べたりして、自然物の不思議さに気づき、木の実や葉の特徴に気付くことができるようにする。	○木の実や葉を拾って、どのような場所にあったかを考えたり、友達と伝え合ったりする。 ■集めた木の実や葉の種類を調べる(デジタルずかん)。 ○木の実や葉でどのような遊びをしたいか考えたり伝え合ったりしながら集めたり遊んだりする。	秋の自然物の特徴や不思議さに気付いている。 【発】【行】【作】	木の実や葉の特徴や不思議さを伝えたり表現している。 【発】【行】【作】	秋の自然物に関心もち、調べたり伝えたりしようとしている。 【発】【行】

1	70~71	なにを かんじたかな	見つけた秋の特徴や自然物、楽しかった活動を伝え合い、それぞれの特徴を生かした遊びができることに気づき、遊びや生活をより楽しくしようとするができるようになる。	○前時にカードに描いた内容について、友達に紹介したり伝え合ったりする。 ○友達と伝え合いをして気付いたことや感想を発表する。 ○これからどんな活動をしていきたいのかを考える。 ○これからどんなことをしていきたいかを発表し、クラス全体で話し合う。話し合ったことをもとに、今後何をしていくかをクラス全体で決める。 ■カードや学習者用端末などで学習を振り返り、次の学習への見通しを持つ（かんがえまとめいる）。	多様な木の実や葉の形や色などを生かした遊びができることに気付いている。 【発】【行】	自分が見つけた秋の特徴や自然物と、友達と比べながら、伝え合っている。 【発】【行】【作】	秋を楽しむ遊びに向けて、計画を立てようとしている。 【発】【行】
1	72~73	見つけた あきで あそぼう	集めた木の実や葉を形や色で分けたり何かに見立てたりして、特徴を生かした遊びに気づき、みんなで楽しい遊びを創り出すことができるようにする。	○集めた木の実や葉について、友達と伝え合う。 ○集めた木の実や葉で、どんなことをしてみたいかを考える。 ○集めた木の実や葉の特性を生かして、簡単な遊びを楽しむ。 ○素材遊びをした感想や気付いたことを伝え合う。	木の実や葉の形や色などを生かして遊ぶことの面白さに気付いている。 【発】【行】【作】	集めた木の実や葉を形や色で分けたり何かに見立てたりして、どんなおもちゃが作れるか動きを試したりしながら遊んでいる。 【発】【行】【作】	木の実や葉を使って遊ぶことについて、みんな楽しく遊ぼうとしている。 【発】【行】【作】
3	74~75	見つけた あきで つくろう	集めた木の実や葉で遊びに使うものを工夫して作り、みんなで遊ぶことの面白さ、約束やルールを守って遊ぶと楽しいことに気づき、遊びをよりよくすることができるようにする。	○作りたいものを考え、活動への見通しをもつ。 ○自分が作りたいおもちゃを工夫しながら作ったり改良したりしながら遊ぶ。 ○作ったもので友達と一緒に遊んだり、遊び方を工夫して楽しんだりする。 ○活動を振り返り、楽しかったことや気付いたことを絵や文などで表現する。	・木の実や葉の形や色などを生かしておもちゃを作る楽しさや、遊びを工夫したり創り出したたりする面白さに気付いている。 ・約束やルールが大切なことや、それを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】【作】	おもちゃの動きを試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、繰り返し遊んでいる。 【発】【行】	・みんなで楽しく遊ぶために遊びの工夫を伝え合い、遊びをよりよくしようとしている。 ・友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しもうとしている。 【発】【行】
資料	76	あきのおもちゃの づくりかた	秋の自然物を使ったおもちゃの作り方を、適宜、参考にする。				

2	77	あきの たのしさを つたえよう	秋の自然物で遊んだ楽しさを、身近な人々に伝えたいという願いをもち、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選ぶことができるようにする。	○「あきのたからものランド」の計画を立てる。 ○「あきのたからものランド」に招待するために必要なものを作ったり準備したりする。 ○遊び方やルールをグループで話し合ったり、試しに遊んでみたりして工夫する。 ○ポスターや招待状を作って渡す。	相手や目的に応じて、さまざまな伝え方があ ることに気付いている。 【発】【行】【作】	これまで園児と接した ことを思い起こして、 計画を立てたり練習し たりしようとしている。 【発】【行】【作】	園児の反応や状況に合 わせて、多様な方法で 伝えたいことや気持ち を表そうとしている。 【発】【行】【作】
2	78~79	みんなで あきを たのしもう	園児と適切に関わって遊び、伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかり、一緒に楽しく遊びたいという願いをもち、すすんで触れ合い交流することができるようにする。	○園児を出迎え、挨拶をしたり、「あきのたからものランド」コーナーやルールなどについて説明をしたりする。 ○「あきのたからものランド」を園児と一緒に楽しむ。 ○園児を見送り、片づけをする。 ○活動を振り返り、楽しかったことや嬉しかったことを、絵や文などで表現する。	・伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかっている。 ・園児におもちゃの楽しさを伝える際、園児にわかる言葉遣いをしている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】	園児の様子を意識して、伝わる方法や言葉を選んで いる。 【発】【行】【作】	おもちゃの楽しさを伝えたいという思いをもち、すすんで触れ合い交流しようとしている。 【発】【行】【作】
1	80~81	なにを かんじたかな	活動を振り返り、みんなで秋を楽しむことができたことや、友達や自分自身の成長に気づき、生活と季節との関わりや、一緒に遊ぶ楽しさを実感し、生活を豊かに楽しくできるようにする。	○これまで記入したカードや、ノート、写真などを見て活動を振り返る。 ○これまでの活動を振り返って、感じたことや考えたことをカードなどに記入する。 ○これまでの活動について、感じたことや考えたことを友達と伝え合う。 ○友達と伝え合いをして感じたことや、気付いたことを発表する。 ■学習を振り返って、自己評価をする（あきのたのしかった あそび/ぐんぐんはしご）。 ★家の人に、おもちゃの工夫や楽しかったことを伝え、一緒に遊ぶ。	自分たちが秋を楽しむことができたことや、園児を楽しませることができたことがわかり、友達や自分自身の成長に気付いている。 【発】【行】【作】	野原での遊びや、おもちゃ作り、「あきのたからものランド」で、遊びを工夫したり、友達や園児と楽しく遊んだことを振り返り、表現したり伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	自分たちの生活が、身近な自然や季節の変化に関わっていることや、みんなで遊ぶ楽しさを実感し、毎日の生活を豊かに楽しくしようとしている。 【発】【行】【作】

単元 (学習指導要領との関連)			目標	観点別評価規準			
かぞくにここに 大きくせん (主たる内容2 内容8、9) 指導時期：12～1月 指導時数：10時間 教科書：上巻p.82～93			家庭生活に関わる活動を通して、家庭での楽しみ、家庭における自分の生活や役割などについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることがわかり、家族の一員として、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりすることができるようにする。	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	82～83	(単元の導入)	これまでの家族との出来事を振り返って、家族のことや自分のことに関心を持ち、家族のよさや、自分と家族との関わりに気付くことができるようにする。	<p>■家族がにこにこする場面や自分の家族のことについて思い出し、家の人がにこにこしているのはどんなときか、笑顔を見て感じるなどについて話し合うことで、これからの学習のイメージを持つ(わくわくスイッチ/わくわくシート)。</p> <p>○家の人がしていることや、自分のしていることについて話し合う。</p>	<p>家庭の温かさ、家族一人一人のよさがわかっている。</p> <p>【発】【行】</p>	<p>家族のことや、家族と一緒にいて楽しかったことなどを思い出し、伝えている。</p> <p>【発】【行】</p>	<p>家族と一緒にいて楽しかったことや、助けてもらったことなどを思い出そうとしている。</p> <p>【発】【行】</p>
1	84～85	みんなの1日を きいてみよう	これまでの家族との出来事を振り返って、家庭生活に関心を持ち、家族が役割をもって家庭の仕事をしていることがわかり、自分自身の生活を見つめることができるようにする。	<p>○家庭での自分の1日の過ごし方を思い出し、家族の1日の過ごし方について考える。</p> <p>○家庭でわからないことを見たり尋ねたりして調べ、家族の1日や仕事を調べる。</p>	<p>家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることがわかっている。</p> <p>【発】【行】【作】</p>	<p>家庭生活を思い出したり、調べたりして、家族のことや自分のことについて、表現している。</p> <p>【行】【作】</p>	<p>家族のことに興味を持ち、家庭生活を見つめようとしている。</p> <p>【行】【作】</p>
1	86～87	なにを かんじたかな	家庭生活における家族の役割を見直して、家族が果たしている家庭の仕事と、自分の生活や健康との関わりに気づき、家族のために自分ができることに取り組むことができるようにする。	<p>○自分と家族の1日の過ごし方について、家族と自分を比べて気付いたことを友達と話し合う。</p> <p>○家族が家庭のために果たす役割や仕事、自分とどのように関わっているかを考え、自分が家でできることをやってみたいという意欲をもつ。</p> <p>■カードや学習者用端末などで学習を振り返り、次の学習への見通しを持つ(かんがえまとめい)。</p>	<p>・家庭の温かさ、家族一人一人のよさがわかっている。</p> <p>・家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることがわかっている。</p> <p>【発】【行】【作】</p>	<p>家庭生活におけるそれぞれの役割を見直しながら、自分の取り組み方を決めている。</p> <p>【発】【作】</p>	<p>家族が喜ぶことを考え、自分ができることに取り組もうとしている。</p> <p>【発】【行】</p>

2	88~89	いえの しごとに ちょうせんしよう	家族が喜ぶことを考え、自分の役割に気付き、自分でできそうな仕事に繰り返し取り組むことができるようにする。	○家庭の中で自分のできそうなこと、やってみようことを考える。 ○家族と一緒に家の仕事に取り組む。 ○自分一人で行けることを探して取り組む。 ○家庭で行った仕事について絵や文などで表現する。	自分でできることや自分の役割に気付いている。 【発】【行】	家族の存在や役割、喜ぶことを意識して、自分でできそうなことを集めている。 【発】【行】	家族のためにという願いをもって、自分でできることに何度も繰り返し、取り組もうとしている。 【発】【行】
3	90	かぞくにこにこ 大きくせんをしよう	家庭での取り組みを友達と交流して、家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするために、自分の役割を果たすことができるようにする。	○家庭生活の仕事以外にも、家族が喜ぶことを考え実行する。 ○「かぞくにこにこ大きくせん」を行う準備をし、行う。 ○気付いたことを友達と伝え合う。 ○「かぞくにこにこ大きくせん」で行ったことやわかったことを自分なりの方法で発表し、活動を振り返る。	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。 【発】【行】【作】	家庭生活をよりよくするために取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 【発】【作】	家庭生活をよりよくするために、自分の取り組みを見直しながら、家族の一員として自分の役割を果たそうとしている。 【発】【作】
1	91	なにを かんじたかな	家庭での取り組みを振り返って、自分も家庭を構成している大切な一人であることに気付き、家族の一員として、家庭での仕事を続けることができるようにする。	○活動を振り返り、自分の気持ちを家族へ手紙で伝える。 ○これからも自分が家族のためにできることを続けていく意欲をもつ。 ■学習を振り返って、自己評価をする（ぐんぐんはしご）。 ★自分が家庭できることを考えて続けるようにする。	自分も家庭を構成している大切な一人であることに気付いている。 【発】【作】	家庭生活をよりよくするために取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 【発】【作】	家族の一員として、家庭での仕事を続けようとしている。 【発】【作】
1	92~93	これまでを ふりかえろう ふゆ休みを げん気に すごそう	これまでの活動を振り返って、自分自身のよさや成長に気付き、冬の特徴を生かしながら、冬休みにやってみようことの計画を立て、家族とともに楽しく過ごすことができるようにする。	○これまでの活動からできるようになったことなどを友達に伝え合い、自分自身の成長を振り返る。 ○食べ物や暮らしの変化で気付いたことなどを話し合う。 ■年末年始の行事のことを思い出す（ふゆのくらし）。 ○冬休みに家族と一緒にやってみようこと、楽しみにしていることなどを話し合う。 ○冬休み中の規則正しい生活や健康のために気をつけることなどについて話し合う。	・自分自身のよさや成長に気付いている。 ・生活の中には、季節にちなんだ行事があることに気付いている。 【発】【行】	・過去の自分や出来事を振り返り、現在の自分と比べている。 ・身近な行事を思い起こしながら、自分の関わり方を考えている。 【発】【行】	・これまでの成長に自信をもち、意欲をもってこれからの生活をしようとしている。 ・年末年始の習慣や行事に関心をもって、家族と楽しく過ごそうとしている。 【発】【行】

単元 (学習指導要領との関連)			目標		観点別評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
きせつと なかよし ふゆ (主たる内容5、6 内容4) 指導時期：1～2月 指導時数：12時間 教科書：上巻p.94～107			冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春や夏、秋との違いを見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、冬の自然遊びの面白さや自然の不思議さ、遊びの準備や後片づけの大切さに気づき、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。		冬の自然に関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、冬の自然遊びの面白さや自然の不思議さ、遊びの準備や後片づけの大切さに気付いている。	冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春や夏、秋との違いを見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。	冬の自然に関わる活動を通して、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	94～95	(単元の導入)	冬の野原や公園を予想して、変化に気づき、冬にできる遊びについて期待することができるようにする。	■身近な地域の様子や自分たちの生活の中で見つけた冬を思い出し、これからの学習のイメージを持つ(わくわくスイッチ/わくわくシート)。 ○冬の野原や公園の様子の変化を予想する。 ○冬の野原や公園でどのようなものを見つけたり遊んだりしたいか、見通しをもつ。	冬の野原や公園の様子が変化してきていることに気付いている。 【発】	冬の野原や公園の様子を、秋の野原や公園の様子と比べながら、予想している。 【発】	冬の野原や公園でできる遊びを楽しもうとしている。 【発】
2	96～97	ふゆを見つけに いこう	冬の野原や公園の様子を予想し、変化に気づき、冬にできる遊びを考えたり、諸感覚を生かして冬の自然と関わり、自然の中のきまりや自然の不思議さに気づき、冬の特徴を見つけたりすることができるようにする。	○冬の野原や公園に行く計画を立てる。 ■春や夏、秋と比べて、違うところを見つける(ふゆ見つけ)。 ○冬の野原や公園に出かけ、楽しく遊んだり、出会った人と関わったりする。 ○諸感覚を使い、秋の様子と比較しながら植物や生きものの様子を調べたり、氷や風などに触れたりして楽しむ。 ○気付いたことや心に残っていることを絵や文などで表現する。	冬の野原や公園の様子から、自然の中のきまり、自然の不思議さに気付いている。 【発】 【作】	諸感覚を生かして、冬の自然に関わったり、冬の特徴を確かめながら、動植物を見つけている。 【発】 【行】 【作】	冬の野原や公園の変化に関心をもって、冬の特徴を見つけようとしている。 【発】 【行】 【作】
2	98～99	生きもののわくわくクイズ	生きものを観察したり調べたりして、自然の中のきまりや自然の不思議さに気づき、生きものの冬の過ごし方に関心をもつことができるようにする。	○植物の様子を観察する。 ○生きものの様子を観察する。 ■見つけた植物や生きものを調べる(デジタルずかん)。	冬の生きものの様子から、自然の中のきまり、自然の不思議さに気付いている。 【発】 【作】	他の季節と比べながら、冬の生きものを観察している。 【発】 【行】 【作】	冬の生きものの特徴に関心をもって、観察したり調べたりしようとしている。 【発】 【行】

4	100~101	かぜと あそぼう	風で遊ぶおもちゃを作ったり遊んだりして、風のかや、遊びに必要な道具の準備に気付き、みんなで冬の遊びを楽しむことができるようにする。	○風を捕まえたり、風を使ったおもちゃを作ったりして、風と遊ぶ。 ○自分なりに工夫しておもちゃを作り、楽しく遊ぶ。	・風にはものを浮かせたり動かしたりする力があることや、風の遊びの楽しさや遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】【作】	風で遊ぶおもちゃの動きを予想したり、確かめたり、見直したりしながら、おもちゃを作ったり遊んだりしている。 【発】【行】【作】	友達と競って楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強くおもちゃを作ったり、遊びを創り出そうとしている。 【発】【行】【作】	
2	102~103	ゆきや こおりで あそぼう	雪や氷のある場所を比べて、雪や氷の遊びに必要な道具や遊びの楽しさ、遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付き、みんなで協力して遊びを創り出すことができるようにする。	○寒い日に雪や氷を使った遊びを工夫して遊んだり、自分で氷を作ったりして楽しむ。 ○雪や氷を使った遊びのおもしろさや自然の不思議さについて友達に伝え合う。 ●氷ができる場所について考えたり、日なたと日陰の違いを比べたりする。	・雪や氷は、さまざまな遊びに利用できること、遊びの楽しさや遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】	雪がとけにくい場所や、氷が作りやすい場所を比べながら、遊びを創り出している。 【発】【行】	友達と協力して雪遊びや氷づくりをしたいという願いをもって、遊びを創り出そうとしている。 【発】【行】	
1	104~105	なにを かんじたかな	冬の自然と関わった遊びを振り返って、冬となかよくなれた自分に気付き、冬の自然と関わったことを生かして、自分たちの生活を楽しくしようとしている。	○気付いたことを絵や文にしてカードなどに書く。 ○わかったことや感じたことを伝え合う。 ■学習を振り返って、自己評価をする（ふゆのたのしかった あそび/ぐんぐんはしご）。 ★冬の野原でしたことを、家の人に伝える。	活動を通して、冬となかよくなることができた自分に気付いている。 【発】【行】【作】	冬の自然と関わった遊びを振り返って、遊びを楽しく工夫したり、楽しく友達と遊んだこと、季節の変化が自分たちの生活と関わっていることを伝え合っている。 【発】【行】	冬の自然と関わった遊びを生かして、自分たちの生活を楽しくしようとしている。 【発】【行】【作】	
資料	106~107	のはらの カレンダー	生きものの1年間の様子を参考にする。					

単元 (学習指導要領との関連)			目標	観点別評価規準			
もうすぐ2年生 (主たる内容9 内容8) 指導時期：2～3月 指導時数：14時間 教科書：上巻p.108～116			自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えている。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。	
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	108～109	(単元の導入)	入学した頃の自分や出来事を振り返り、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、成長を振り返る手掛かりを見つけたり集めたりしようとしている。	■入学したときのことで覚えていることや、入学してからこれまでの写真などを見て、どんなことがあったかを振り返り、これからの学習のイメージを持つ(わくわくスイッチ/わくわくシート)。 ○うれしかったこと、楽しかったこと、残念だったことなどを発表する。	自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。 【発】【行】	入学した頃の自分や出来事を振り返り、現在の自分と比べている。 【発】【行】	成長を振り返るために、手掛かりを見つけたり集めたりしようとしている。 【発】【行】
6	110～111	あたらしい1年生をむかえよう	新1年生を迎える準備をする中で、優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、自分の内面的な成長に気付き、思いを込めて準備できるようにする。	○新1年生を迎えるためにどんなことができるか、考えたり話し合ったりする。 ○新1年生に教えてあげたい学校のことや、伝え方の方法を話し合う。 ○新1年生を招待して、学校について教えてあげたり、自分がいちばん自信があることを教えてあげたりする。	優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、内面的な成長に気付いている。 【発】【行】【作】	自分の生活や成長について、自分なりに振り返りながら、新1年生を迎える準備をしている。 【発】【行】【作】	入学当初の自分を思い出し、思いを込めて準備をしようとしている。 【発】【行】【作】
3	112～113	1年かんをおもい出そう	1年間を思い起こして、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、自分の成長を支えてくれた人々の存在に気付き、感謝の気持ちを表すことができるようにする。	○カードや絵、作文などを見ながら、入学してからのできごとを発表し合う。 ○カードや絵、作文などを見て1年間を振り返る。 ○入学してからできるようになったことや、がんばったことを思い出す。 ○自分一人だけでなく、友達と協力してできたことや自分を支えてくれた人々がいたことなどを思い起こし話し合う。 ○できるようになったことを、見せたり、説明したりして発表する。 ○教室をきれいに掃除したり、飾りつけをしたりして、新1年生を迎える準備をする。	自分の成長を支えてくれた人の存在や自分との関わりに気付いている。 【発】【行】	成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりについて考え、感謝の気持ちを表している。 【発】【行】	自分自身の成長を支えてくれた友達や周りの人に感謝の気持ちを伝えようとしている。 【発】【行】

4	114~115	なにを かんじたかな	自分らしさを捉え、自分自身のよさや可能性に気づき、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。	○2年生になることへの期待をもてるよう、2年生になってみたいことについて伝え合う。 ○自分の成長を振り返り、2年生になってからの希望や期待について、作文に表す。 ○書いた作文を発表し、友達のよさを認め、伝え合う。 ■学習を振り返って、自己評価をする（2年生の目ひょう/ぐんぐんはしご）。 ★2年生の目標や願いを、家の人に伝えるようにする。	自分自身のよさや可能性に気付いている。 【発】 【作】	自分らしさを捉え、自分の成長に希望を持ち、これからの生活について考えている。 【発】 【作】	これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 【発】 【作】
資料	116	もしも 1年まえのじぶんとあ えるかがみがあ ったら。	■自分の成長を学習した経験をもとに、1年前の自分が今の自分に、どのようなことを言うかを想像する（いぐらドリル）。				